



約130人が参加した講習会

社総合ビルで「鉄骨品質適正化講習会」を開催した。同協議会は県内の鉄構組合や行政、建築士会、建設業協会、建築構造技術者協会など建設関連団体の関係者で組織し、年1回、鉄骨品質の確保を目的に講習会を開催している。当日は同協議会の会員である群馬県鐵

化協議会（会長＝高橋康夫・群馬建築土会会長）は11月25日、前橋市の群馬県公

## 「鉄骨品質適正化講習会」を開催

めつき割れ、補修など学ぶ

構業協同組合の組合員と賛助会員、行政関係者、各団体に所属する設計者、ゼネコンなどの技術者ら約130人が参加した。

損傷で建て替えた事例も紹介。被災者の心理面を考慮する必要がある点を指摘し、「非構造部材の被害を抑えることが重要」と強調した。

たい」と述べた。

コストや工期を整理し、実際の補修事例と補修後の性能を紹介した。また、構造的には問題ないものの壁間に仕切りなどの非構造部材の引き続きご協力をお願いし、この会の灯を消すことなく次代につなげていきたい。

2部は「鉄骨造建築物の被災後補修」をテーマに東京科学大学の吉敷祥一教授が講演。16年に発生した熊本地震の現地調査を踏まえ、被災部位とその補修、修復にかかる

。鉄骨造におけるめつき  
の事例とメカニズムを  
紹介した上で、部材の成  
分や形状、めつき浸漬速  
度などが及ぼす影響を豊  
富な実験データをもとに  
解説した。

各団体が参加しており、全国でもあまり例がない。県

業協組理事長)は講演者に謝辞を述べ、「この組織は行政から役立者、製作者の

## 講習会後、同協議会の大 竹良明副会長（群馬県鐵構

する必要がある点を指摘し、「非構造部材の被害を抑え

仕切りなどの非構造部材の損傷で建て替えた事例も紹介。被災者の心理面を考慮

コストや工期を整理し、実際の補修事例と補修後の性能を紹介した。また、構造的には問題ないものの壁間

## 群馬県建築鉄骨品質適正化協議会の講習会

開催日：2025年11月25日

会場：群馬県公社総合ビル 大ホール

(鋼構造ジャーナル 2025年12月8日付)

# ニュースフラッシュ

群馬県建築鉄骨品質適正化協議会の講習会（東京科学大学 吉敷教授）

■ 開催日：2025年11月25日

■ 会場：群馬県公社総合ビル 大ホール 「演目：鉄骨造建築物の被災後補修」

